

令和 8 年度 あおもり県民カレッジ 西北地区地域キャンパス講座（五所川原市・市浦）
実施報告書

知って得する！薬の正しい飲み方と上手な薬局の活用法

- 1 講 師： 町屋 宗邦（薬剤師）
- 2 開催日時：令和 8 年 7 月 22 日(水) 10:30～12:00
- 3 開催場所：五所川原市 市浦コミュニティーセンター
- 4 共 催 先：五所川原市教育委員会
- 5 参加者数：23 名
- 6 主な内容
 - ・「薬を 6 種類以上服用している方はいるか」との問いかけに対し、約 3 分の 1 の受講者が挙手していた。多剤服用により薬同士の相互作用が生じると、ふらつきやめまい、転倒、強い眠気、物忘れ、便秘、食欲不振などの副作用や、認知機能の低下につながる可能性を説明していた。
 - ・錠剤が大きく服用しづらい場合は、薬剤師に相談する事で、半錠への分割や粉薬への変更に対応できる場合がある。また薬局によっては一包化にも対応している。
 - ・「マイナンバーで医療情報を確認できるのであれば、お薬手帳は不要ではないか」という質問に対し、災害時ネットワークが利用できない状況では、紙のお薬手帳が有効であるため、両方活用することが望ましいとの説明があった。
 - ・医者に直接質問しづらい内容があれば、看護師や受付へ相談してもよいとの説明があった。また、「どうしたいか（例：薬を減らしたい）」「なぜ（例：眠気が強いため）」を箇条書きでメモにまとめて渡す事で、診療が円滑に進むとの助言があった。
- 7 写真

